

第3回 市民活動団体交流会 報告書

日時 平成26年2月23日(日) 午後1時～4時

場所 丸子ふれあいステーション 3階 会議室



交流



連携



第3回 丸子地域 市民活動団体交流会 次第 (平成25年度わがまち魅力アップ応援事業実績報告会)

12:30	開場
	<平成25年度わがまち魅力アップ応援事業 実績報告 パネル展示> 場所:3階会議室
13:00	パネル展示による発表 : 団体の代表者がパネル前で質問対応 S 【実施報告団体】 ①下長瀬自治会 ②地域で英語！ともだち英語の会 ③ゆうあいまるこ ④内村っ娘の会 ⑤鹿教湯温泉観光協会 ⑥鹿教湯温泉100年プラント創造プロジェクト ⑦石井花と緑の会 ⑧箱山城・桜ロードの会 ⑨霊泉寺温泉自然jukuプロジェクトteam若女将 ⑩丸子太鼓保存会 ⑪「世界のレンゲツツジ園」の会 ⑫中丸子やまびこ会
	<第3回 丸子地域 市民活動団体交流会> 場所:3階会議室
13:40	開会 (実行委員会副会長) S あいさつ (丸子地域協議会会長/交流会実行委員会会長) 進行説明 (事務局) 意見交換 第1部 ※4グループに分かれて意見交換 グループ1 地域食を考えよう グループ2 花マップを作りませんか グループ3 地域の宝を見つけよう(里山づくり・自然景観) グループ4 まちなかの魅力を探そう(観光・地域おこし)
14:40	※上記のほか、事業の継続性、連携の可能性、他団体との交流など自由に意見交換
	休憩 (10分間)
14:50	第1部意見交換内容の発表 S 1テーブルにつき3分以内 ※担当の協議会委員がまとめたもの
	テーブル移動:発表を聞いて興味のあるテーブルへ
15:10	意見交換 第2部 自由に意見交換・交流
15:55	テーブルごとのまとめ、意見発表
16:00	閉会 (実行委員会会長)

第3回 市民活動団体交流会 参加者名簿

	団体名	地区	現在の活動状況	代表者氏名	参加者
1	中丸子ホタルの里の会	中丸子	平成21年度からほたるの里自然観察園づくりを考案。現状は、川の落差がないためホタルが育成できない。水が淀み、泥が積もり、毎年自治会役員で清掃するもガマの木が増える一方でホタルが舞う状況ではない。	温井郁雄	1
2	小鍋立ての会	御嶽堂	平成21年度から城山登山路、岩谷堂遊歩道を活かした歴史散策道整備を実施。同種のそばでブランド化ができないかと考える。	岡本文衛	3
3	独鈷山千本桜の会	平井宮沢	独鈷山麓の御屋敷敷地地籍の荒廃地に11年前から約1500本の桜を植栽。毎年桜祭りを開催し活性化を目指す。	滝沢芳一	2
4	信州国際音楽村公園バラの会	生田	平成23年度から信州国際音楽村公園内のイングリッシュローズの育成を中心としたバラ花壇の整備。バラの育て方や楽しさを知る講習会や講演会等を実施し、苗の販売も行い各種交流事業を展開する。	金井秀夫	1
5	SLOWLIFEクラブ下和子素浪人の会	下和子	平成20年度から地域の景観整備と生活環境の継承として活動している。現状は会員のボランティアスピリットにたよるところが多い。しかし高齢化に伴い先細りの心配がある。事業継続の資金確保や若い新加入者への働きかけ、大豆やそば刈り等農業機械の貸し出し制度はないか、などアドバイスいただければ幸いです。	山本進	2
6	丸子太鼓保存会	鹿教湯温泉	鹿教湯温泉交流センターを核とした太鼓団体の合宿を誘致し、現有施設の有効活用及び新たな交流ネットワークの構築を通じた交流促進と地域活性化を目指す。	斎藤重一郎	2
7	霊泉寺温泉自然JUKUプロジェクトTeam若女将	霊泉寺温泉	霊泉寺の温泉地再生を目標に、伐採・植樹・美化・景観整備活動を地域が一つになり実施したり、上田城千本桜祭や紅葉祭のPRと参加、自然を存分に生かし、山紅葉・吉野つつじを植樹し、遊歩道整備やファミリーアウトドアイベントを霊泉寺地区全体で盛大に行う。霊泉寺温泉を広くPR、多くの方に訪れていただける霊泉寺地区を目指す。	清水理絵	1
8	地域で英語！ともだち英語の会	丸子	上田地域の子供たちが世界の共通語である英語や世界のことを広く学ぶきっかけとなるようなアカデミックな語学体験活動を主に小学生対象に行う。年間通して講演や座談会英語ワークショップを開催し、地域で英語のできる人材・当事業に関心ある住民とも交流しながら、子どもたちが自然に英語に慣れ親しむ機会を設ける。ボランティアも広く募集する。	宮島富美子	1
9	ゆうあいまるこ	丸子	国籍に関係なく共生できる地域づくりを考え理解し、外国籍住民にも地域でお互いを理解する事により一市民として社会参加を促す。食文化を体感するイベントや言語漢字カード「パパママいっしょ」の作成を通して、日本で生まれた外国に繋がる第二世代の子どもたちの育成に力を入れるとともに、外国人指導者の育成と社会参加を促す。	成澤みつ子	1
10	内村っ娘の会	内村	地域食材を使った郷土料理をテーマに内村地域の住民が気楽に語り合えるイベントとして、地区内のウォーキングコースを使ったイベントや野外ケータリング、ベリー摘みと、ベリー加工料理教室、野草を使った料理講習会を開催する。	長岡和恵	2

第3回 市民活動団体交流会 参加者名簿

	団体名	地区	現在の活動状況	代表者氏名	参加者
11	鹿教湯温泉観光協会	鹿教湯温泉	鹿教湯温泉地域で、地域住民とお客様が一緒に参加したオーナー制の緑化推進。花も多く、優しい温泉街としてのおもてなしの向上と、温泉と病院のある特色ある地活として地域づくりと誘客の活性化を目指す。 もみじ橋から薬師堂までの遊歩道に「しゃくなげ」100本を植栽し、トリミーロード他の路面などに福寿草や芝桜などを植える。	斎藤厚志	1
12	鹿教湯温泉100年ブランド創造プロジェクト	鹿教湯温泉	温泉と病院がある特色ある地域の再生と活性化の為に、第三者の専門家と大学生の力を活用し、地元一般住民と観光関係者との意識の差を少なくして地域が一体となった地域づくりと活性化を目指す。	斎藤明	1
13	石井花と緑の会	石井	自治会内での花づくりの活動の場を通して昨今希薄になりがちな市民相互のコミュニティーの場とし、地域への愛着や自治会内の連帯感を醸成する。 花づくりそのものを自治会住民のコミュニケーションの場とし、花壇作り花づくりには子どもたちにも積極的に参加してもらい、ものづくりの達成感と地域奉仕の経験をしてもらう。	櫻井照夫	1
14	箱山城・桜ロードの会	中丸子	住民相互の親睦をはかり里山整備という共同作業を通して地域コミュニケーション能力を高めることを目的とする。 遊歩道整備として、勾配が急な2カ所約30mに擬木階段を設置しました。〔百聞は一見に如かず〕天気の良い日を選んで約850mの道程の箱山城を訪れてみませんか。	小山一正	3
15	下長瀬自治会	下長瀬	当地域においてもウォーキングが壮年・成年を中心に盛んであり、その方達の要望や防災の面からも当自治会内を結ぶ通路が多くなることは有益である。 散歩道としても適度な傾斜があり、遊歩道を利用したふれあいウォーキングを開催する。昔、この場所は子供達がソリ遊びをしていた所であるが、それを復活させることも目指す。	久保田和英	1
16	世界のレンゲツツジ園の会	鹿教湯温泉	西内地域の特産であった“エキスバリー・アザレア”を主としたレンゲツツジ(Deciduous Azalea)の親木用圃場(50アール・2ヶ所)と、その隣接耕作放棄地を公園として拡張・整備し、地域特産の苗木として位置づけ植栽・生産する。	斎藤兵治	2
17	中丸子やまびこ会	中丸子	花と緑のまちづくりを進めるため、広場の土留め設置や木製チップの敷詰、花壇の整備を行い、荒廃した周辺地域の環境を‘潤い空間’として甦らせ、周辺地域の環境美化が広がり、住民の交流が生まれることで地域を活性化させる。また、子どもたちが自然に接し心豊かに育つことを願い、世代を超えたコミュニティーの場とし、地域への愛着を深める。	成澤啓輔	2
				計	27
丸子地域協議会				委員	12
				事務局等	4
				報道関係	2
				合計	45

交流会 テーブルごとの主な意見・まとめ

【グループ1】 テーブルテーマ『地域食を考えよう』

参加団体：小鍋立ての会、内村っ娘の会、SLOW LIFE クラブ下和子素浪人の会

まず、会の活動から紹介し合いました。その中で、荒廃地対策のためソバを植えたが赤字が続いて持続がなかなか出来ないことに対して、内村っ娘の会は料理を提供しているんですが、内村っ娘が連携してソバのイベントをしてソバをふるまったりすることで徐々にその問題を解消していくことは出来ないだろうかという連携の話になりました。

内村っ娘は地産地消で料理を提供しているので、会への食材の提供としてソバだけでなく、ほかの作物も植えてみたらどうだろうという提案がありました。わらび、山ぶき、すぐり、ブルーベリーなどの植栽をしてみたらどうかなどの提案もありました。

会の資金面だけではなく人材面でも継続性に問題があるという意見については、内村っ娘の会からはやはり稼げれば人も集まってくるので、ただのボランティアではなく稼げる方向で、持ち出しをするだけではなくなんとか稼ぐ手だて、会の継続を賄える程度の資金稼ぎとしての形態を作っていく。そうすると人は集まってくるのではないかという意見提案もありました。

このグループは、特に連携という点に話がいききました。そういう連携がこれからできるののではないか、ソバのブランド化ですとか、わらびや山ぶきのブランド化などをやって行ったらどうかという前向きな方向性が見出せたかなと思います。

もうひとつ、ソバを刈るにも菜種を刈るにも機械が必要です。その機械を確保するのが高価で無理という。機械の確保の問題点が浮かびあがりました。丸子全体で共有して使用できるような機械の確保ができれば素晴らしいなという意見も上がりました。



【グループ1】 <第2部交流>

魅力アップ応援事業の考え方として、小鍋立ての会は以前に申請したことがあり、単年度しかもらえなかったとのこと。今は、地域協議会のほうで要望書を出して改善されました。5年の継続が出来るようになった。しかし、そのあり方として、実績を上げている団体には資金継続を続けるようなやり方かどうか。継続して無い事業については、市のほうでどこが問題なのかをアドバイスをして、資金を打ち切るようなそういう差別化、きちんと事業を継続されているところにはしっかりと補助金を上げたらどうかという意見がありました。

第1部での話の中で、連携の実現可能性について、この市民活動団体交流会の中で実際に連携が出来そうな話になってくるとは思ってもいませんでしたので、よかったなと思います。食を通して連携が実現しそうな方向性が見えてきました。

活動資金はどう経費していくか?

- 内村、福の会の担当作りと計算がある。(活動の収入と経費の差を把握して、その差をどうするか)
- 会費の借入は、事業と経費の差を埋める。(経費の差を埋める)
- 小鍋立ての会 (100人以上)
 - 利益の追求せず、楽にやっていく。(利益を追求せず、楽にやっていく)
 - 地域に貢献できる活動。(地域に貢献できる活動)
 - たばこの資金の必要。(たばこの資金の必要)

人材の確保

- 20-1年契約、年々少くなる傾向。人材の確保、自由な働き方。
- 活動の継続は、人材の確保が重要。(活動の継続は、人材の確保が重要)
- 若手人材の育成。(若手人材の育成)

地域協議会

- 無理なく活動の楽しさを伝える。(無理なく活動の楽しさを伝える)
- 活動の楽しさを伝える。(活動の楽しさを伝える)

町づくり層づくり

- 高齢化の進行に伴って、活動の楽しさを伝える。(高齢化の進行に伴って、活動の楽しさを伝える)
- 活動の楽しさを伝える。(活動の楽しさを伝える)

地域資源

- 地域資源の活用。(地域資源の活用)
- 地域資源の活用。(地域資源の活用)

目標

- 地域資源の活用。(地域資源の活用)
- 地域資源の活用。(地域資源の活用)

【グループ2】テーブルテーマ『花マップ作りませんか』

参加団体：信州国際音楽村公園バラの会、鹿教湯温泉観光協会、石井花と緑の会、中丸子やまびこ会、下長瀬自治会

丸子地域には、わがまち魅力アップ応援事業の補助を受けている、花木に関するグループが結構多い。しかし、現在のところその活動というのは単独スタンダードとなっていて、お互いの連携ということや情報交換ということは出来ていない現状です。その中で課題として、活動の継続性や後継者をどうしていくか、維持費・活動費の生み出し方が難しいというような課題が共通的に行かれています。その中で、この花木に関する活動グループの連携をどうしていくか。連携自体については必要だろうと皆さんお考えになるのですが、実際に連携していくとなると、一つは連携の中心となるような団体や個人の方々が、余裕が無くてなかなかそこまでは手が出しにくいということで前に進んでいかない。

場づくりについて、いくつかの花木のグループに集まってもらって、地域協議会として場づくりのところまではやって欲しいという意見が出ました。そこまで、地域協議会として責任をもって進めてくれれば、中心的な役割を担ってくれるというありがたい意見も中丸子やまびこ会からありました。

そういうことで今後、丸子地域協議会としてはいろいろ検討も必要かと思いますが、協議会の一つの活動としてそういう方向性を考えていく必要もあるだろう。



【グループ2】 <第2部交流>

実績のある団体の方にも基本的な方向は賛同していただきました。やはり、場づくりは地域協議会として是非やって欲しいという話でして、現在の地域協議会は3月末で終了になりますので申し送りとして次期地域協議会のほうへ申し送っていただければと思う。

No.2 花マッパを作りました。

鹿教湯温泉観光協会

謝辞

① 継続性 後継者問題

② 活動費

中北子やまびこ会

2年目

基本 100才程度

活動 20名

100才程度

石井花と緑の会

活動 10名

活動 10名

信州国際音楽村公園

バラの会

活動 10名

下長瀬自治会

活動 10名

活動 10名

相山域 桜ロードの会

活動 10名

活動 10名

現状

- ① 活動が停滞・マンモント化
- ② 情報の共有化

地域協会の課題・課題

- ① 事業の採算
- ② 団体の賛同の必要

① 活動が停滞・マンモント化

② 情報の共有化

③ 活動の活性化

④ 団体の賛同の必要

⑤ 活動のマンモント化

⑥ 活動のマンモント化

⑦ 活動のマンモント化

⑧ 活動のマンモント化

⑨ 活動のマンモント化

⑩ 活動のマンモント化

【グループ3】 テーブルテーマ『地域の宝を見つけよう（里山づくり・自然景観）』

参加団体：中丸子ホテルの里の会、独鈷山千本桜の会、霊泉寺温泉自然 JUKU プロジェクト Team 若女将、箱山城・桜ロードの会、世界のレンゲツツジの園の会

皆さんには現状と課題と要望とについてお聞きしました。いろいろと活発な意見が出たのですが、その中でも独鈷山千本桜の会では、課題としては後継者が問題とのことでした。桜が終わると活動は終わってしまうので、通年の行事にしたいとのことでした。現在、ツツジとか、枝垂れ、アジサイ等もやっている。その中で、内村が花街道になればいいなという意見。今は点として各集落でやっている。それが花街道になればいいなというお話がございました。

それに関連して、世界のレンゲツツジの園の会は最近採択された事業ですが、公園を作りたいということです。現在、温室が現存しているから、ツツジの育成とか、ブルーベリーとか、そういうことの中から限定をして、花街道ということにも繋がればばいいかなとも思います。

箱山城・桜ロードの会ですが、丸子地域協議会で去年視察をさせていただきました。箱山城の調査を現在依頼していて、調査中とのこと。歴史、土質、ルーツを調査していけば、違った展開になるかもしれないとのこと。困っているのは獣害（鹿）とのことで、桜やツツジを食べられてしまう。その中で634mの展望台を‘ムサシ’ということやっていきたいとのこと。

自然 JUKU プロジェクトについては、昨年多くの人に参加してもらったが、それが霊泉寺温泉の活性化に繋がっていないとのことでした。

中丸子ホテルの会については、根本的に川の落差の問題とか、コケが生えていないとかの問題もあり、全くホテルも出ない。協力者もいない。環境整備がリスタートということです。

先程第2グループからもありましたが、丸子地域協議会の課題としても関連があるかと思います。わがまち魅力アップ応援事業で採択された事業ですので、しっかりと問題点を把握しながら、地域の活性化につなげていきたいという意欲は各団体にございました。



【グループ3】 <第2部交流>

箱山城・桜ロードの会から一言。私たちが活動している中で、知らないことがありました。箱山城という地籍があるのですが、そこに昔、のろしなのかお城なのかは不明ですが、城跡がある。その地番を調べていましたら、生島足島神社の管理地であった。みんな驚きました。中丸子の皆さんも誰もそのことを知らなかった。調査を進めたら、そういうことがわかった。そういうことを一つは調べておくことで、松枯れも含めて周辺の伐採を、無料でしていただけるということ森林組合のほうでお話を伺いながら進めた。しかし、この申請とか、それに係わる負担や費用とかが思いのほかかかった。こういうことを、地域協議会あるいは自治センターの何らかの組織なかで考えていただかないと、私たちの事業でも困難が出てくることもある。

NO. 3711-7°

現状	課題	要望
<箱山城 桜ロードの会> <中丸子マリンの会> (現状) ○ 滑落事故も多し。道路整備も推進中。	○ 後継者作り。 ○ 通身に通じた行事にしたい。 (マリン、桜、林、土、農) ○ 協力がほしい。 ○ 環境整備からの再スタート	○ 内村が花街道にしたい。 (道から線への展開) ○ 温泉の活用も考えてほしい。
<中丸子マリンの会> <箱山城 桜ロードの会> ○ 川の落差が大きい。 ○ 水が枯れる。 ↓ マリンが金いらない <温泉寺温泉自然JUKUプロジェクトTeam若女将> ○ 昨年は多くの人が参加して頂く。	○ 敷居が低い。桜、マリン (桜、土)	○ 温泉の活用も考えてほしい。
<箱山城 桜ロードの会> ○ 箱山の調査実施中。(H26.) 城 (ルーツ、歴史、土、自然)	○ 駐車場の確保 (公園に120台)	○ 4ヶ所 ○ 634m展望台の製作したい ○ 温泉が現存している。その活用 ○ マリンの育成、育苗 ○ 711-711
<世界のレンゲツツシの園の会> ○ 耕作放棄地の整備中。		

【グループ4】テーブルテーマ『まちなかの魅力を探そう（観光・地域おこし）』

参加団体：丸子太鼓保存会、地域で英語！ともだち英語の会、ゆうあいまるこ、鹿教湯温泉
100年ブランド創造プロジェクト

まず最初に、自分たちがどんなまちに住みたいか、どんなまちにしたいのかの話から切り込みました。他県からみた丸子で有名なのは、丸子実校（現修学館高校）の野球部が第1番かなという意見。丸子は野球だけではないということを知ってもらえるようなまちづくりをしていなくてはという話になりました。また、外国人に対しても、地域の子供から高齢者に至るまで、丸子地域の魅力を、自信をもって紹介できるまちづくりにしたいという話にまとまりました。

高齢者や交通弱者への配慮、遠くへ行かないと生活用品が買えないとか、交流をもてないとか、若い人から高齢者まで幅広い方たちが都市部へ行かなくても活動できるような魅力あるまちづくりにしていきたいという話になりました。

連携に関しては、それぞれの団体のイベントで交流が図れるのではないかと。例えば、まだ確定ではないですが、ゆうあいまるこの外国籍の方との異文化交流で、丸子太鼓の会が出張しまして日本の文化の一つを紹介するとかの取り組みも出来るのではないかと。

今日も、ゆうあいまるこさんからお菓子のご提供がありましたが、こういった食べ物についてもいろいろと交流が出来るのではないかと。

地域で英語！ともだち英語の会の皆さんと、鹿教湯温泉としましても英語を使ったガイドなども連携が可能なのではないかとのお話もありました。また、ともだち英語の会とゆうあいまるこの交流として、英語語学交流なども是非実施してみたいと話が盛り上がりました。子どもたちがお菓子を一緒に作りながら語学交流をする試みは、素晴らしい取り組みになると思う。



【グループ4】 <第2部交流>

観光・地域おこしの話を第2部で致しました。

ファーストビルの活用方法ということで、あれだけの施設が何故活用されないのかということ、やはり駐車スペースが狭いからではないかと。駐車しにくいということが業者の活用に影響しているのではないかと。例えば、趣味のスペースですとか、食のスペースなど。

ちょうど内村っ娘の会の皆さんが好評を得て料理を提供しているということなので、活用してもらってはどうかという意見もありました。

花市は丸子ドドンコよりも人出が多く賑わうということで、若い人たちも多い。丸子の中で一番賑わうイベントであり、年に1回ではもったいない。春、夏、秋、冬の4回やってみてはどうかとの意見も出ました。

ファーストビルの活用
 キーワード → 着目集めていく

まちりか
 住みやすい街
 ・住居による地域(地域力強い地域)
 ・人種・性別・年齢に関係なく住める地域
 ・子育て支援を町を此の地域・魅力ある地域
 ・観光・自遊・自遊の場 → 1つの地域に集まることで
 ・高齢者交流の場にもなるといい地域
 ・地域で働き手・学生・若者(地域力)
 ・自治体の活動も活かし、魅力ある地域
 ・地域の若手の負担が少なくなる
 ・地域の中心地へ移すことで再活性化
 ・多様なニーズに対応する地域づくり(まちづくり)
 ・多様な文化を創出・発信する
 ・自然を活かせるまちづくり → 自然を大切に
 ・自然を大切にできるまちづくり → 自然を大切に
 ・外国人の住むに配慮を徹底
 ・上田駅オアシス敷地内(外国人向け英語)
 ・ファーストビルを有効活用出来ればいい
 ・多様な文化を創出・発信する
 ・多様な文化を創出・発信する
 ・多様な文化を創出・発信する

食のフランド
 ・資源の活用(地域活性化)
 ・内村っ娘の会 → ファーストビルの活用出来るか?

観光と活用
 ・中央駅周辺(ファーストビル)の活用
 ・空海聖蹟(聖蹟)の活用
 ・ファーストビル周辺の道路の活用
 ・上田市夏祭り → 多様な文化
 ・丸子(まちづくり)
 ・多様な文化を創出・発信する
 ・多様な文化を創出・発信する
 ・多様な文化を創出・発信する
 ・多様な文化を創出・発信する

丸子ってどんなまち?
 ・若者が多く
 ・自然が多い
 ・外国人の住むに配慮を徹底
 ・外国人の住むに配慮を徹底
 ・外国人の住むに配慮を徹底

活働交流しませんか?
 ・多様な文化を創出・発信する
 ・多様な文化を創出・発信する
 ・多様な文化を創出・発信する

【実行委員長の閉会あいさつ】

みなさん、長い時間にわたりご協力いただきまして有難うございました。和気あいあいと、そして熱心にご討議いただきましたが、それぞれのテーブルから非常にいい成果が出てきているように思います。



私たち地域協議会委員のほうでも、是非、新しいまちづくり、地域づくりの提案に対して出来る限りご協力を申し上げ、お手伝いをしていきたいと思っております。どうぞ、いろいろなご意見を地域協議会のほうに上げていただきたいと思います。

また、わたくし事ですけれども、今回の大雪の中で、生活道路を確保するためにいち早くそれぞれの小さな自治会ですけれども、重機を出して動いた地域もあったと聞いております。こういうことをきっかけに、お互いに地域で暮らす者が助け合いの絆を深めていく、それがとても大切なことであると改めて思いました。車を出せないで困っているお隣さんの雪かきをお手伝いしたり、雪が落ちてくるから早く車を動かしたほうがいいですよ、などと教え合ったり、そんなふうに声を掛け合いながらこの大雪を乗り越えて参りました。

そういうことを考えますと、今日みなさんがお集まりいただいて、私たちの地域にこんないいことがあるよと、ここをもっとこうしたら絆が深まっていくのではないか、そういうことのヒントを一つでも得ていただけましたら大変うれしいことでございます。

熱心にご討議頂きまして本当にありがとうございました。
これから、是非、丸子のまちをいきいきと魅力あるまちにするために頑張ってください。

同日開催
平成25年度わがまち魅力アップ応援事業
実績報告 パネル展示

